新東名高速道路建設事業に伴う発掘調査



凝岩岩"

疏遠流現場見学会

主催: 各进期间投入加入加入等占等期间 共催: 海关公司就意思复会

2013年11月3日(日)



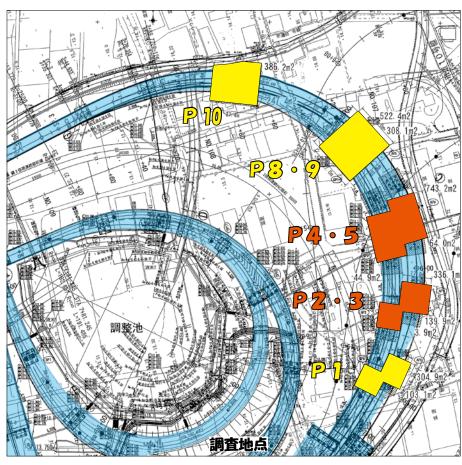


跡堀遺跡は相模川左岸の自然堤防 上に位置する、縄文時代から近世に かけての遺跡です。

新東名高速道路海老名南ジャンクション建設工事に伴う発掘調査により、近世の土坑や畝状遺構、中世の大造株で満状遺構などが発見され、さらにその下から奈良~平安時代にさかのぼる複数の竪穴住居跡が発見されました。

遺物は近世の陶磁器や遊び道具の 泥面子、漁労具の土錘、中世の陶磁器、 奈良~平安時代の土器(土師器・須恵 器)・灰釉陶器などが出土しています。

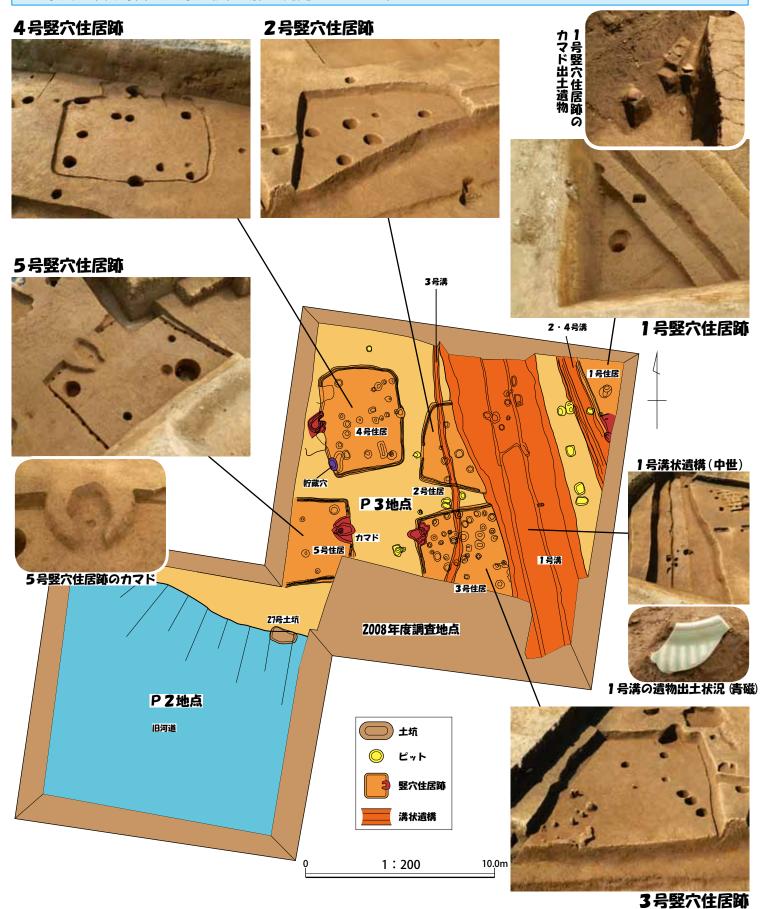
今回は平安時代の竪穴住居跡が検出されたP2・3地点、および近世~中世の遺構を調査しているP4・5地点(右図)の成果を中心に紹介します。



P2 - P3地点



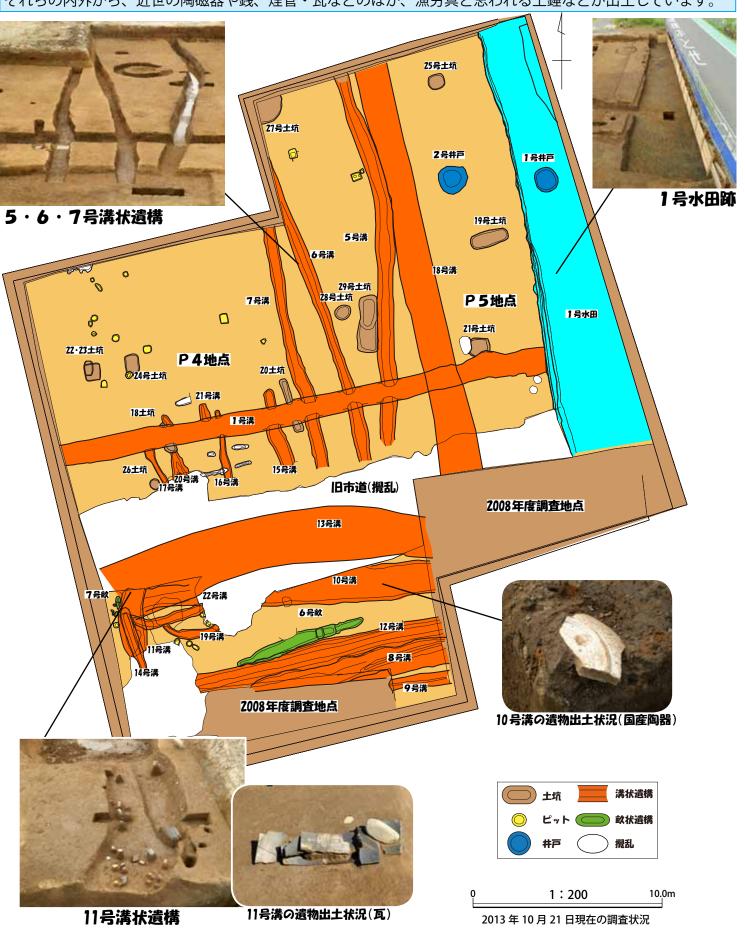
P 3 地点では、奈良~平安時代の竪穴住居跡が 5 軒発見されました。一部は中世の溝 状 遺構に壊されていましたが、カマドの跡を残すものや、貯蔵穴と思われる土坑を伴うものなどがありました。 P 2 地点では、同じく奈良~平安時代の旧河道 (川の跡) が発見されました。



P4 - P5地点



P4・P5地点では近代・近世の土坑や畝状遺構・溝状遺構のほか、井戸、水田跡などが発見されました。 それらの内外から、近世の陶磁器や銭、煙管・瓦などのほか、漁労具と思われる土錘などが出土しています。





奈良~平安時代の土師器



近世の土器・陶器



近世の泥面子(芥子面)



中世の国産陶器・中国産磁器



近世の磁器(染付)



現・砥石などの石製品(中世〜近世)



土錘 (古代~近世)

おおよその年代

35000年前 15000年前

2500年前

1700年前

1300年前

800年前

400年前

150年前

縄文時代

弥生時代

古墳時代

黄色が利け今回の調査で発見された遺蹟・遺物のおおよその時期を示していきす



海老名市

跡堀遺跡現場見学会

2013年11月3日(日)公益財団法人かながわ考古学財団 〒 232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1 № 045-252-8689 http://kaf.or.jp